

令和2年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時	令和2年10月15日(木)	午後6時30分~9時45分
場所	文化会館 大会議室	
参加者数	20人	
市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	教育長	近内 栄一
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	保健福祉部長	柿本 敦史
	経済部長	川上 勝義
	建設水道部長	小野 豊
	教育部長	亀淵 雅彦
	財政課主幹	高田 敦子
	企画振興課長	関澤 博行

【市長 開会のあいさつ】

おばんでございます。本年の地域懇談会は今日が初日となります。しかしながらコロナ禍での開催ということで様々な制限を設けての開催となりました。このことにつきましてはご了解をいただきたいと思えます。

コロナ禍での状況を報告させていただきますが、4月14、15日からは市内での市民の感染は発生しておりません。しかしながら観光を含めて少しずつ人の動きが戻ってきています。最近の土日や連休の関係でお話しいたしますと、観光拠点のひとつでありますマルシェの関係は前年の100%近い入込みがあると聞きしています。しかしながら、日帰り客と道内客が中心ということから経済効果は前年まで到達しないという状況です。観光の中心になる宿泊施設は今のところ土日でも30%前後、平日は20%を割る状況が続いているようです。市といたしましても事業者の支援、生活している市民の方々の状況を支援するための施策も講じさせていただいているところです。しかしながら市の取り組む内容につきましても限界がありますし、国の支援を受けながらの状況を作っていくかなければならないということです。

新聞でも出ておりましたが、先日、赤羽国土交通大臣が富良野においでいただき、観光の状況、観光に関わる交通体系の現況の意見交換をさせていただいたところであります。その中には宿泊、交通、飲食の関係する代表の方のご参加をいただき様々な意見をいただきました。大臣に意向を申し入れ、事業の展開にあたっては、多くの市民の方々のご協力も必要ということで、今後も冬に向けての人の動きも出てまいろうかと思えますのでご協力とご理解をよろしくお願いしたいと思います。

今日の地域懇談会ですが、令和3年度から始まる富良野市第6次総合計画を作成中です。今までは市役所内部で作りに上げてきたものですが、本年は市民に参加していただく、市民のみなさんに関心を持っていただくことを目標として、市民の皆さんにコーディネートしていただく取り組みとさせていただきます。昨年のワークショップで100人規模、あるいは少し規模を縮小してのワークショップという中で、それぞれの地域にある課題や魅力をあげて富良野市の将来にどんなことが必要なんだろうという話し合いをいただきました。そうしたものをもとにして基本構想ということで作成していただき今日みなさんにご提案させていただきますが、大切なのは皆さんに関心を持っていただき、皆さんと一緒に富良野市を作り上げていく思いのこもった計画にしていきたいと思っています。今日も皆さんの忌憚りの無いご意見をよろしくお願いしたいと思います。

時間は限られていた中かと思えますけれども皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

【懇談会の意見と回答】

行財政運営（総合計画）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○基本構想で要望を聞かれても単なる地域要望なのか、総体的な計画の要望なのかかわからない。基本計画ではどう市民から要望を聞くのか基本的スタンスを聞きたい。我々市民が入るのはどこになるのか聞きたい。	○基本構想原案は目指すべきまちのイメージであり、具体的計画は協議中です。1月から2月にパブリックコメントで市民の意見をお聞きします。市民参加について昨年のワークショップと今年10月4日のワークショップでは

	広報で募集して意見を頂いています。
○第6次計画は市民の意見をよく聞くコンセプトはあるが肉付けがない。原点は町内活動、1町内会30戸を目途に町内会の再編成や助成金の上積みなど人の輪に肉付けを希望する。	○具体的な施策についてもこの意見を参考に肉付けしたいと考えています。
○原案に重要拠点の協会病院への地域医療に対して思いやりはないのか。産婦人科医師は一人しかいない。妊婦に病気があれば旭川に行くことになる。富良野医療を守っているといえない。	○構想原案では具体計画を示していませんが協会病院への医師は現予算でも支援し第5次総合計画の医療にも入っています。構想なのでわかりづらいが細かいものは今後入ります。
○市民は個別計画を知りたい。ワークショップの積み上げではなく市民の意見を聞くべきではないか。全体が見えない。個別を見せることで市民参加できると思います。意見として考えていただきたい。	○充分今後に生かしていきたいと思います。
○今回の総合計画の資料はカッコいいが中身が見えない。委託会社が作成したのか。今までは行政全体で積み上げてきたが、単にワークショップだけでまとめたものか。もっと視野を広くして連合会長会議を数多くしないと意見は聞けない。行政が何をしているのか役割分担が見えてこない。	○委託業者の役割は司会の進行や参加者意見をどう吸い上げるか、市民自らが誘導することによって作り上げていくことに期待して業務委託を行いました。課題を8班編成で積み上げ有識者会議で整理しています。実施計画の段階で連合会長会議や各団体を利用して市民意向を集約したいと考えています。 ○連合会長会議でも意見を頂いたり、市民100人くらいの意見を聞いて構想を練っています。構想なので一部が見えるだけで計画が出たら皆さんの意見が出てくると思います。今後は連合会長会議などで意見を頂き作りたいと考えています。
○無線奉仕団の立場で無線のアンテナは計画に入っているのか。決まったら文書でほしい。	○事務局から聞いて使用許可できるようにしたい。後日文書で出します。
○ふらのデザインにはこの機会にどんどんいろいろなものに入ってもらいたい。ワークショップの過程を分かりやすくQRコードでやり、市民意見を吸い上げるやり方でふらのデザインを使ってほしい。	

市民協働（市民参加）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○審議会に出て市推薦の方の意見は聞いたことがない。毎回同じ人や市の人が発言し1時間以内で終わっているものばかり。市の人選の仕方に問題があるのではないか。議事録も概略ではなくきちんと出してほしい。</p>	<p>○市が選ぶというより関係団体から推薦して頂いています。実態を理解し活発な意見ができるよう考えます。</p>

市民協働（自治会）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○昨年北の峰町内会の街路灯を市補助金を使ってLED化し明るくなりゴミのポイ捨てがなくなりゴミが少なくなったのでゴミ拾いをやめ花壇整備に変更し町内のコミュニケーションも増えたことに報告とお礼を致します</p>	
<p>○コミセン管理で国の緊急事態宣言後、緩和しているが富良野市の方向性を示してくれないと子ども食堂が再開できない。マスクの対応も違ってくるので富良野の方向性を知りたい。</p>	<p>○市対策本部は専門性がないので道の宣言で行っています。最近は管内対応になり上川管内は注意報となっています。感染状況を見たらでやっています。感染状況を見ながら公共施設利用者へお願いし対応したい。</p> <p>○北海道スタイルで市民に提案し新ふらのスタイルの感染防止を履行し自粛だけではなく各団体でいいところを取り上げてほしい。</p>

福祉・社会保障（子育て）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○娘が里帰り出産したが、産前2週間、産後4週間子どもを預けられるようにしてほしい。富良野は決まりが細かく大変でオムツの持ち帰りはやめてほしい。返答はいりません。</p>	<p>○実態把握して現場と協議します。</p>
<p>【ご意見】</p> <p>○コロナの関係で特別給付金の対象を4月28日以降生まれた子供も対象にしてほしい。</p>	<p>【市の回答・対応方針】</p> <p>○基準日（4月27日）以降、令和3年3月31日まで生まれた新生児への給付を行うため、</p>

	10月16日開催の臨時議会へ補正予算を提案します。
--	---------------------------

保福祉・社会保障（高齢者福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○PCR検査を10月中旬以降地域医療機関に出すとの報道もあるが協会病院で検査ができれば違ってくると思う。	○現在、保健所で病院にお願いしていると同じです。相談窓口は保健所からコールセンターに代わって協力してもらっています。
○父のことで介護券は助かっているが対象をトロミ材だけでなく介護食も対象にしてほしい。	○現状では介護食は食料品として対象になりませんが貴重な意見として今後改めて検討していきます。

基盤整備（交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○11月広報で除雪周知すると思うが市民には早く除雪体制や目安を周知してほしい。昨年は間口除雪はしないと印刷物1枚が配られたが、お年寄りには除雪の湿った雪や固い雪は除雪できない。市で可能な限りやってほしい。	○毎年広報で周知しているので少し待っていただきたい。市では以前から間口除雪はしないとしているが、最近は間口除雪の要望が多く地区でバラバラの対応で、除雪が遅れることも度々発生し苦情も多いことから昨年は統一見解として周知しました。

都市基盤（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○ふらのみらい会議のアンケートで新庁舎にノーが70%あった。賛成している人は少ない。唯一市民の声が反映されているアンケートを無視するのか。	○無視しているわけではなく、庁舎の構想段階から懇談会、説明会等で説明し合意を得ています。アンケートは心配されている方の集約と感じ1,700人の70%で全体の70%ではないと思っています。代表者の方が意向として考え

	を聞いてほしいと持ってきました。
○コロナでやめる店も出てきている中新庁舎の建設は今ではない。人口減でも交付税出から問題ないと言っているが、H12からH30を比較すると人口18.1%減で交付税も24.3%減っている。国も厳しいから出せるわけがない。	○交付税はH12からH30比較で24%減ですがH12ですがH19以降はあまり変更はされていません。今後も変わらないと話しをさせてもらっています。
○新庁舎の財源見込みで地方債49.6億円のうち11億円は国の財政支援とあるが、残りの39億円は何年返済で毎年いくらの返済になるのか。	○62.3億円の事業費のうち49.6億円借り、そのうち19.1億円は国から補填があります。補助金も併せ24.8億円を国から財政支援を受けますので、30年償還で実質毎年1.5億円の支払いとなります。
○新庁舎の関係で交付金の減少は心配ないとあったが、新聞では人口減少で各自治体が経営危機を持つと出ている。富良野だけ違う説明に聞こえる。国の予算もコロナ禍で減り、赤字国債の返済もある。財政的に大丈夫か心配している。	○地方交付税の額は人口に比例してるわけではなく、人口減で交付税の額は変わるが税収不足分は国から補填される仕組みになっています。人口減だと生産人口が減り地域の動きが悪くなるのが重要な課題と思っています。人口減対策は現在も行っていますが新計画にも盛り込みます。
○現市役所の場所は昔、川だったが大災害時に水の道になり新庁舎の地盤や液状化は大丈夫なのか。ここに建てる必要性はあるのか。	○国土地理院の地図に昔、川だったとありますが、ボーリング調査を行い地盤支持力に関しては対策を講じ液状化については問題ないことを確認し大丈夫として設計しています。堤防破堤時には旧河川に水は集まりやすいですがハザードマップでも市街はほぼ水害になるため新庁舎の2階以上を防災拠点としています。
○2～3mの浸水をどうやっていくのか。孤立してしまう。	○地震と違い、浸水対策はある程度事前に情報が得られるので浸水前に市民を避難させたい。一次避難はできると考えています。孤立しても情報収集し防災拠点として機能できるように考えたい。
○市民に負担かけないといったが本当に信用しているのか。	○新庁舎の関係では市民に負担をかけないように進めます。
○災害時の予算は計上されているのか。新庁舎建設中に大雨が来ても大丈夫か。	○備蓄品、毛布、仕切りは発注していますが、発注が集中しており年度内に納品されるかわからない状況です。市民にも3日間の備蓄を呼び掛けています。

○京都の先生が講演会で、水害で一番先に沈むのが市役所と文化会館とあった。どこに避難していいかわからない	○避難所の分散も必要で設けています。防災拠点として2階以上で機能を果たせるようにしたいと思います。
---	---

【市長 閉会のあいさつ】

長時間にわたって熱心にご議論いただきましてお礼申し上げます。説明の中で言葉足らずのところがあったかと思いますが、庁舎関係の財政運営につきましては説明の中で察していただいたとお見通しが立ったということでもあります。

富良野市は今まで庁舎だけではなく、学校の整備ですとか、衛生センター、様々な公共施設の整備を進めてきています。その中では金額が今回のように60何億というものがすべてあったわけはありませんが、学校も年次計画の中で何校も建てさせていただき、今手掛ける樹海の学校で改修が終われば耐震の行き届かないところは一校もないところまでできています。それらにかけてきたお金も計画的に返済し滞ることなく償還してきました。そのことが、健全財政を維持しているということに繋がっております。今まで返してきたお金で返さなくなるお金が出てきます。その代わりに庁舎の分の償還が始まるというようなサイクルになってきています。そのことが償還の目途が立ったと説明させていただいたところでもあります。

いずれにしても100%市民の皆さんに行政運営をするなかで負担をかけないということにならないように努めていきますけれども、100%ということは世の中なかなかないわけですから、同時にお金の負担だけではなく、行政運営の中で市民の参加もいただいて協力というところで負担はあるかもしれません。しかしながらこの後のまちづくりは総合計画の中で説明させていただいたとおり、行政が市民にサービスを提供するのは当たり前でありますけれども、そのサービスを市民の皆さんと一緒に作っていくというところはこの後まちづくりの大事なポイントになってくるのではないかなと思っております。

庁舎のことも含め未来に向けて明るい展望の持てる総合計画、庁舎にしていきたいと思っておりますので、今後ともご協力をいただけますようによろしくお願いを申し上げて閉会のご挨拶に代えさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
50-59 歳	女性	市民と一緒に考えるというのが参加者があまりにも少なくがっかりする。今回の原案は漠然としすぎてわかりづらい。
50-59 歳	男性	フラノデザインに多くの意見を聞いてもらい今後良い形で総合計画を作成してほしい
60-69 歳	男性	富良野の知名度の先行にこれを磨き市外からの目を意識した発信する街に
60-69 歳	男性	住民投票制度の創設検討
60-69 歳	女性	職員として市民のニーズや暮らしに目を向けて富良野で住み続けたい町づくりを目指してください。
60-69 歳	女性	ひとりの人が長時間マイクを握りしめるのはおかしい。
70 歳以上	男性	特別な事情がある場合は地域懇談会を中止しても良いのではないか
70 歳以上	男性	総合計画のWAの中に町内会の組織づくり、人づくりを入れ、町内会の手当の増額を盛り込んでほしい。また町内会の再編成を6次計画の柱にしてほしい。